
コーヒーと語り部

甘辛

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

コーヒーと語り部

【Nコード】

N7725E

【作者名】

甘辛

【あらすじ】

世界を旅する冒険者達は、憩いの時を求めてその喫茶店にやって来る。店主は、コーヒー一杯の代金として、訪れた彼らの武勇伝や思いの丈を快く聞いた。これは、そこで語られたいくつもの小さな話を、一つの大きな伝説へと紡いでゆく物語。

プロローグ

舞台となるのは巨大な神の樹に守られる世界、クランハルベリア。

特殊な生態系によって成り立つその場所は、獰猛な生物が割拠する危険な世界である反面、性別や世代を越えて世界中から集まった命知らずな冒険者達の好奇心や出会いと別れ、そして物語を生み出して来た”天国”でもあった。

種族や出身の隔てなく、人々は剣を振るい、魔法を駆使しながら、数々の凶暴な生き物を打ち倒し、先人の遺した財宝を求めて旅をし、新たな時代をその手で作りあげて行く。

その力強く勢力を伸ばす冒険者の様は、正に”開拓者”のようだ、と後の世に伝える者も居た程であった。

そんな時代を生きた人々の中に、冒険者達が伝説と崇める一人の男が居た。

種族は人間。

彼はその力を以て幾つもの未開の地を征し、その知恵を以て数々の危機を遠ざけて来たという。

だが、その男はいつの間にかぱたりと姿を現さなくなってしまうた。

彼が身に付けていたと言われる剣のみを残し、消えるように居なくなつたのだ。

しかし男の勇姿は、口から口へと伝えられ、その剣は彼の故郷の国に祭られており、現在まで人々の胸にしつかりと刻み込まれている。そして数々の冒険者の憧れと、夢と、希望となつて、歴史に名を残したのだつた。

此処に記すは、その伝説を追つた数多の冒険者達の、新たな開拓の様子を垣間見た、一つの喫茶店の物語

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7725e/>

コーヒーと語り部

2010年11月11日08時20分発行